

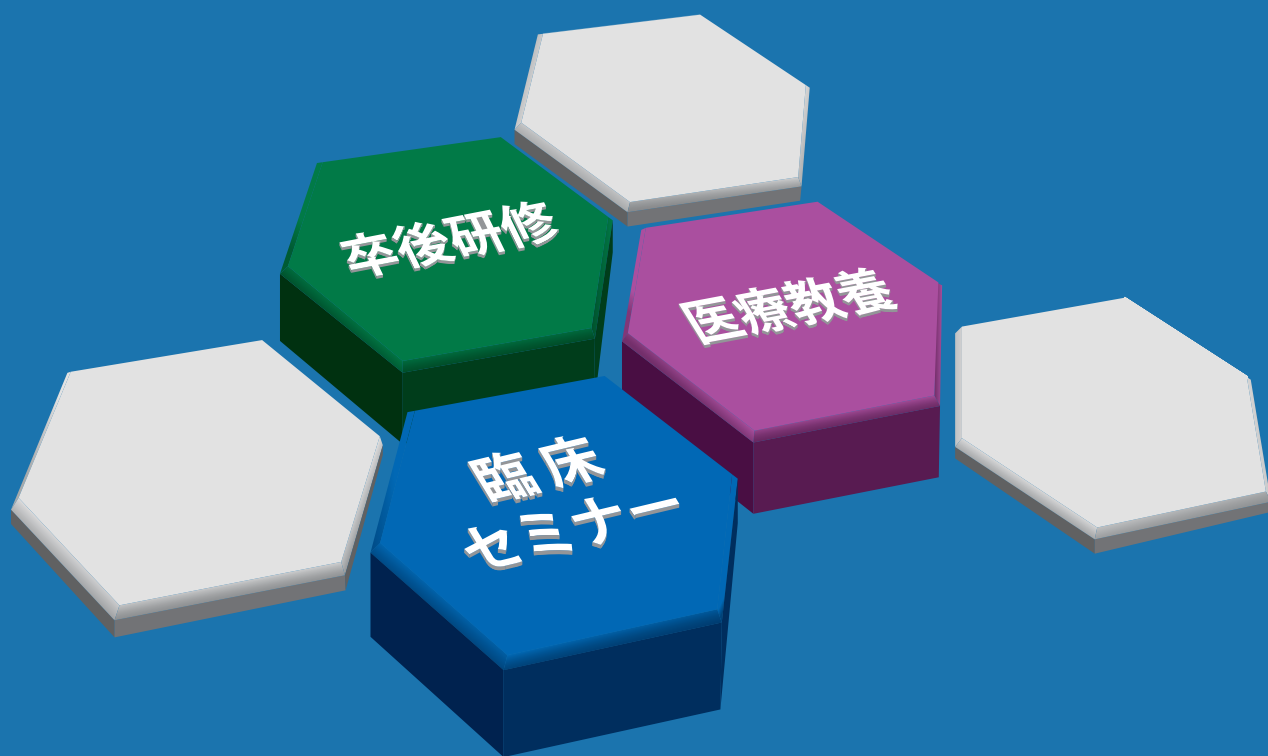
同窓会創立120周年



**TOKYO DENTAL COLLEGE
ALUMNI ASSOCIATION**

TDC Academia

2015



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

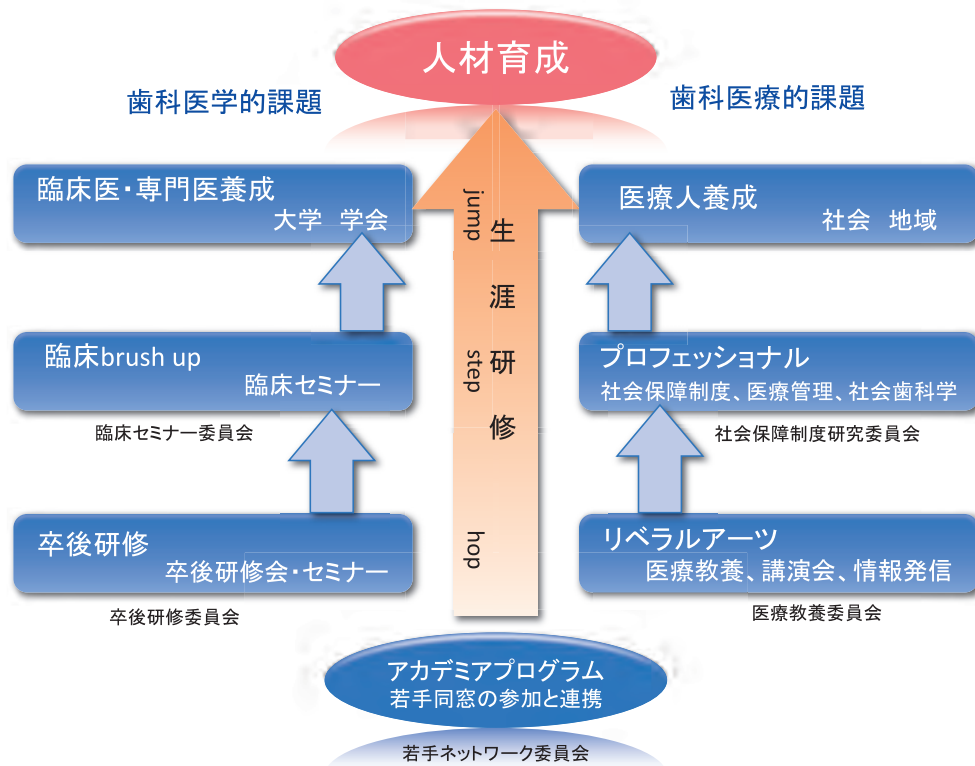
日本歯科医師会生涯研修認定



会長 矢崎 秀昭

2015年、東京歯科大学同窓会は創立120周年を記念し、アカデミア構想の柱として研修セミナーが開催されます。血脇守之助先生が、歯科医師は高度な医療技術の研修と併せて、社会性や倫理観を共に学び、助け合うために明治28年に同窓会を創設されました。本年はこの精神にもとづき、高度な先進臨床技術の習得と、人間性にあふれた社会人として幸せな歯科人生を歩むために必要な知識や考え方について、皆様と共に考え実践することを目指して企画されております。研修医をはじめ若手の先生方から、臨床経験が豊かなベテランの先生まで、専門的知識や臨床にすぐ役立つ技術をも学べるセミナーとなっています。受講されることにより、明日からの診療にすぐに役立つとともに、歯科医療に携わることの喜びを、改めて確認できることとなります。より多くの皆さまのご参加をお願い申し上げます。

同窓会創立120周年を機に新たな同窓会の一つの役割としてアカデミアプログラムをスタートさせました。臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野から技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。また、リベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じ、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop → step → jump として目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

卒後研修



同窓会では、卒直後からの歯科医師に必要な生涯研修の方法を考えています。

学生時代に学んだ事を臨床で活用し、最適な治療を提供できますか？

歯科には最適治療という方程式はありません。それは患者と術者のそれぞれの「個の多様性」があるからです。それぞれの患者から学ぶ以外にないのです。それを解消する為に必要なのは症例を通じて勉強する事であると考えています。以下のようなステップを考え、それに合わせた研修会をご提供いたします。

ステップ 1 症例（患者）を見るって 何を見ればいいの？

ステップ 2 患者の情報って何を聞いて、何を考えるの？

ステップ 3 治療方法の引き出しを増やすためには何をすればいいの？

*臨床に対するちょっとした疑問をお持ちの方どなたでも参加できます。

申し込みは不要で、毎月必ず開催しています。

参加無料

開催日時	開催場所	内 容
● 歯科臨床を語る会 第 4 木曜日 19:30 ~	東京歯科大学 水道橋校舎 南棟 6 F 会議室	講義：記録資料の重要性 臨床のヒントから 実習：口腔内写真撮影実習など 参加者のケースプレゼンテーションをディスカッション
主 任：藤関雅嗣 対象者：卒業後 1 ~ 10 年目 GIO（一般目標）： 歯科疾患に対して包括的な診断・治療・手順が出来るようになるために、歯科大学生の時に習得した知識、態度、技能を再認識し、歯科診療に応用する。 (臨床研修医からの参加が最適です)		
● DSM デンタル スタッフ ミーティング 第 3 水曜日 19:30 ~	東京歯科大学 水道橋校舎 南棟 6 F 会議室	症例ディスカッション (2 ヶ月同一症例) 1 ヶ月目：症例の診査や現症に関するポイントを 2 ヶ月目：症例の処置方針や予後予測に関するポイント
主 任：加藤賢祐 対象者：卒業後 1 ~ 10 年目 GIO（一般目標）： 歯科医師が生涯にわたる研修を行うために、症例報告から患者の情報をディスカッションし、問題点を発見し明確化することで、患者の立場を考えた幅広い歯科医療についての知識、態度および技能を習得する。 (困った相談症例をみんなで考えましょう)		
● TDC 研修倶楽部 第 2 水曜日 19:30 ~	東京歯科大学 水道橋校舎 南棟 6 F 会議室	症例ディスカッション (2 ヶ月同一症例) 1 ヶ月目：症例の情報に関するポイントを 2 ヶ月目：症例の処置内容や予後に関するポイント
主 任：山本雅通 対象者：卒業後 5 年目 ~ (5 年目以下は聴講) GIO（一般目標）： 歯科疾患に対して各分野の専門科と協力し、患者の望む最も良い医療を実践するために、経過症例を通じてディスカッションを行い治療計画の立案法を習得する。 (少し臨床から離れていた方、もっと知りたい方に)		

担当委員：藤関雅嗣、加藤賢祐、高橋潤一、山本雅通、田口達夫

詳しい研修会の内容は <http://www.tdc-alumni.jp> でご案内しております。

欠損歯列の見方

日常臨床において欠損補綴を行うにあたり、「何をみて」、「どのように診断し」、「設計をどうしたら良いのか」頭を悩ますことは、意外に多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは義歯設計の際に、基本的な欠損歯列の見方、義歯設計のポイント、支台装置の選択方法などを実際の症例を提示しながら解説します。

また、グループディスカッション（模擬チュートリアル）を通して、症例の難易性、分析、診断能力を養うことも目的としています。長期症例や難症例を講演から疑似体験することにより、診断、治療計画の大切さ、経過観察の重要性を習得して頂くセミナーです。また、先輩臨床家によるオープンディスカッションも企画しており、特に臨床経験の浅い先生方に最適のセミナーとなっております。

開催日：5月17日(日)
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 13F
 時間：9:30～16:30
 受講料：臨床研修医：無料
 その他：5,000円
 (FAXでお申し込みの上、受講料は当日
 受付にてお支払いください)

定員：80名
 講師：宮地建夫（東京都・開業）
 藤関雅嗣（東京都・開業）
 加藤賢祐（神奈川県・開業）

講演内容：欠損歯列の見方
 支台装置の特徴と選択
 長期症例 難症例からみえること
 実習内容：症例分析と義歯の設計
 (グループディスカッション)
 チュートリアル形式にて行う



※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

卒後研修 ベーシックセミナー			
ふりがな	歯科医師 (大学	年卒)
ご氏名	臨床研修医 (大学卒)	
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)		
住所	〒		
	TEL	FAX	
ご勤務先名			

*満席の場合のみご連絡いたします。

リベラルアーツ・リレー講座

歯科医療の専門化、高度化が進む中で、専門職におけるリベラル・アーツの重要性が再認識されておりま
す。そこで、同窓会においても、リベラル・アーツに関する内容についても積極的に取り組んでいきたいと
考えております。リベラルアーツ・リレー講座では歯科医のための教養講座として、多彩な分野より講師を
お招きして、講演会の開催を企画してまいります。

第1回 『和食って素敵』

～世界に誇る和食のすばらしさ～

講師：福留奈美

(お茶の水女子大学講師・フードコーディネーター)

日時：1月29日(木) 19:30～21:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎南棟6F 会議室

定員：60名

受講料：1,000円

(FAXでお申し込みの上、受講料は当日受付にてお支払いください。)



2013年12月、ユネスコ無形文化遺産に「和食：日本人の伝統的な食文化」が登録されました。ここで言う「和食」は、特定の料理だけをさすものではなく、日本人が長い歴史の中で育んできた日本の伝統的な食のあり様、すなわち食文化全体をさしています。

世界中で日本食は大人気です。しかし、寿司、ラーメン、懐石料理など、一部の料理の話だけで日本食が語られるのは残念なことです。その背景にある歴史や日本人の嗜好、また日本ならではの自然の豊かさ、高い調理技術など日本が誇る食文化の特徴をしっかりと認識し、次世代に伝えていくことが大切です。

本講座では、世界に誇る「和食」のすばらしさについて具体的な例をあげて紹介をしていきます。日本の風土と気候、食材の多様性、行事食と家庭料理、自然の尊重と季節感の表れ、米・魚介類・水など豊かな自然の恵みに対

する感謝、世界に知られるUMAMIと発酵文化、酒・茶・和菓子、包丁技に見られる日本人ならではのこだわりなど、お伝えしたいことがたくさんあります。

自分で噛んで食べることは楽しみであり、生きる意欲の源となります。“日本料理は目で食べる”とよく言われますが、適度な歯ごたえがあることやなめらかさ、歯もろさや口どけの良さなど、歯や嚥下と大きく関係する食べ物の状態はおいしさにとってとても重要です。日本語に、食感を表すテクスチャー用語がとても多いということをご存知でしたか？そういった調理科学領域の学術研究成果についても、また、お食い初めの歯固めの儀式や唾液の働きでつくる口噛み酒、神饌のスルメの意味など、噛むことと食べ物と伝統的な行事との関連などにも触れていきます。「和食」について知るだけでなく、日本の独自性、日本人のアイデンティティ形成について考える機会となれば幸いです。(Nami Fukutome)

※最新のご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) をご覧ください。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

リベラルアーツ・リレー講座 福留奈美 先生	
ふりがな	歯科医師 () 大学 () 年卒 ()
ご氏名	コ・デンタルスタッフ () その他 ()
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

フロントランナーセミナー

本セミナーは、東京歯科大学同窓会会員で、各分野で長年にわたり活躍されている著名な先生を講師としてお招きして行う講演会です。日々の臨床でどんな事を感じどんな事を考え、どのように患者と向き合い取り組んでこられたか、また、その臨床経験の中から、次世代へ伝えたい事などをお話しいただき、世代間での交流を目的としたセミナーです。

No.1 歯科医たる前に人たれ

～社会は我々歯科界に何を求めてきたか～

講師：加藤 武彦

(昭和36年卒 神奈川県・開業)

日時：2月26日(木) 19:30～21:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎南棟6F 会議室

定員：60名

受講料：1,000円

(FAXでお申し込みの上、受講料は当日受付にてお支払いください。)



私は、昭和40年代後半からの「むし歯洪水」の時、小学校で給食後に「ノンペースト」「ノンウォーター」「その場磨き」という手法を用いて、DMF 歯数の減少を数値で出して参りました。また、ブラッシングにおけるローリング法最盛期に、これで本当に磨けるのかと横浜歯科臨床座談会の面々で実際に体験学習した後、今の毛先磨きに到達いたしました。また、在宅往診において、顎堤吸収の強い症例に対し、歯槽頂間線法則で総義歯を作ったのですが、認知症を煩った患者さんに「こんなもの、入れてられるか。」とその場で捨てられました。認知症の患者さんにとって自分の元あった歯の位置と違うところに歯の配列された義歯は受け入

れられなかったのです。そういった経験から、元あった位置に歯を復元させるデンチャースペース義歯へと方向転換して参りました。

このように、臨床の現場からどうしたら患者さんの苦しみがとれるか、小児のむし歯であり、歯周病の病原であるプラークをどうしたら徹底的にとれるかなど、よく観察し、よく考察しその方法を見いだしてきました。大学で正しいとして教えられたことに対しても、臨床でうまく行かない場合には、世界に向けた勉強をして、今の私の臨床があります。これらは全て自分の臨床を基盤にして、結果を出す努力をした結果です。

(Takehiko Kato)

※最新のご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) をご覧ください。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

フロントランナーセミナー No.1 加藤武彦 先生	
ふりがな	歯科医師 (大学 年卒)
ご氏名	コ・デンタルスタッフ その他
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

フロントランナーセミナー

本セミナーは、東京歯科大学同窓会会員で、各分野で長年にわたり活躍されている著名な先生を講師としてお招きして行う講演会です。日々の臨床でどんな事を感じどんな事を考え、どのように患者と向き合い取り組んでこられたか、また、その臨床経験の中から、次世代へ伝えたい事などをお話しいただき、世代間での交流を目的としたセミナーです。

No.2 これからの歯科医療を考えよう

～専門医としての生き方～

講師：井澤常泰

(昭和57年卒 東京都・開業)

日時：9月10日(木) 19:30～21:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎南棟6F 会議室

定員：60名

受講料：1,000円

(FAXでお申し込みの上、受講料は当日受付にてお支払いください。)



私は1982年に東京歯科大学を卒業し、現在は根管治療を専門に開業しております。我々の学年は、当時水道橋最後の卒業生と言われた学年で、国家試験に実技試験があった最後の年、国家試験が春秋と年2回あった最後の年でもあります。幸いにも国試には同級生が全員受験、全員合格を果たしました。その頃の我々にはインプラントに関する情報はほとんどなく、来るべき高齢化社会へどう対応するかという漠然とした将来像しかありませんでした。卒後間もなく開業する者も多く、まだまだ開業が良い時代でしたので、開業してすぐに保険点数が40～50万点という同級生もいました。卒業をひかえ、私が根管治療を専門にしたいと言うと、同級生からは21世紀になれば虫歯がなくなり根管治

療なんか無くなるなどと言われたものでした。それから30年余り経過した現在、根管治療は無くならないばかりか根管治療の専門医は、徐々に増えて来ています。さらに自分の歯を残したいという患者の意識は30年前とは比べものにならないほど高く、根管治療よりも抜いてインプラントという時代はもう来ないかも知れません。自分に先見があったとは思いませんが、インプラントや補綴治療の誘惑に負けずに一つのことを30年も突き詰めると少しは人前でお話できるようになります。

本講演では将来に迷いがある若い先生方、あるいは新しい診療の形態を摸索されている先生方と一緒に、将来我々が進むべき方向を根管治療という視点から考えてみたいと思います。
(Tsuneyasu Izawa)

※最新のご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) をご覧ください。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

フロントランナーセミナー No.2 井澤常泰 先生	
ふりがな	歯科医師 () 大学 () 年卒 ()
ご氏名	コ・デンタルスタッフ () その他 ()
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

口腔保健オープン・フォーラム

口腔保健オープン・フォーラムは口腔保健活動に関する活動報告とディスカッションを通じ、地域保健活動における情報の共有化を目的としたフォーラムです。予めテーマを決めて開催する会員の参加型のオープン・フォーラムです。診療室内での予防管理システム、学校保健活動での展開、地域での口腔保健への取り組みなど、現場での実際の活動を通じた課題などをテーマにまいります。

第1回 『学校保健でのフッ化物の活用』

日 時： 4月2日(木) 19:30～21:00
場 所： 東京歯科大学 水道橋校舎南棟6F 会議室
参加料： 無 料
主な内容： フッ化物洗口の実践、フッ化物配合歯磨剤の活用

第2回 『地域での成人歯科保健の展開』

日 時： 5月21日(木) 19:30～21:00
場 所： 東京歯科大学 水道橋校舎南棟6F 会議室
参加料： 無 料
主な内容： 各地域での成人歯科保健の活動報告

<話題提供をしていただける方を募集いたします。>

各回のオープンフォーラムでは、当日に会員の方々からそれぞれのテーマに関連する活動報告等の話題提供をしていただける会員を募集しています。話題提供していただける会員の方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

E-mail tdc.open.forum@gmail.com

コーディネーター 高柳 篤史
(医療教養委員会委員長)

※最新のご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) をご覧ください。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

(参加申し込みのフォーラムを○で囲んでください)	
第1回 学校保健でのフッ化物の活用	第2回 地域での成人歯科保健の展開
ふりがな	歯科医師 (大学 年卒)
ご氏名	コ・デンタルスタッフ その他
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住 所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

エンドセミナー

近年の根管治療は、Ni-Ti ファイルの登場やマイクロスコープの使用に伴い、従来の根管治療に比べより精度の高い治療へと変化してきています。しかしこれらの最新技術を様々駆使しても、基本的な歯内療法の見方やコンセプトをしっかりと理解し、技術を習得していなければ、良好な治療結果には結びつかないでしょう。

本セミナーでは、根管解剖を理解した上での髓腔開拓、根管拡大・形成、洗浄、根管充填などの歯内療法の基本的な内容について、一つ一つ再度見直していただき、さらには Ni-Ti ファイルや拡大鏡などの有効的な使い方を講演や実習から習得していただきます。先生方の日常臨床のレベルアップへとつながる、実践的な2日間のセミナーです。

今こそ見直そう！ あなたの根管治療

～根管治療の最新知識と基本技術の習得 2日間コース～

講師：木ノ本 喜史

日時：4月25日(土) 10:00～18:00

4月26日(日) 9:00～16:00

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館 8F

定員：30名

受講料：12万円

10万円（前年度同窓会費納入者）



講演

- 歯内療法における根管解剖
- 歯内療法の基本
- 難治性感染根管へのアプローチ
- ステンレスファイルの特性と使用方法
- Ni-Ti ファイルの特徴とその使用方法（レシプロ含む）
- 根充材、破折リーマーなどの根管内異物の除去の仕方
- マイクロスコープの適応とその使用方法

実習

- アクリルブロックでの基本動作
- 抜去歯を使用した根管拡大
- ハンドファイル
- Ni-Ti ファイル
(FKG RACE, WAVE ONE®)
- 根管充填
- マイクロスコープ（デモ）

※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

エンドセミナー

ふりがな

出身校（

大学）

ご氏名

（

年卒）

ご連絡先 自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）

住所 〒

TEL

FAX

ご勤務先名



木ノ本 喜史

大阪大学歯学部卒業

大阪府吹田市開業

大阪大学大学院歯学研究科臨床教授

日本歯内療法学会 副事務局長

日本歯科保存学会 指導医 専門医

日本顕微鏡歯科学会 理事 専門医

American Association of Endodontists

歯内療法は、根管系から起炎物質を除去して緊密に充填することにより、歯を歯周組織の中で長期に安定した状態で機能させる根管治療が中心になります。ただし、根管治療は基本的に歯の削除を伴うため、歯質の保存を意識しながら処置を行う必要があります。どこまで削ればよいのか迷い、削り足りなければ操作が不十分になり満足な結果が得られず、削りすぎると歯の寿命が脅かされ保存が困難な結果になります。毎日の臨床で歯内療法について悩んでいる割合は多いのではないのでしょうか。

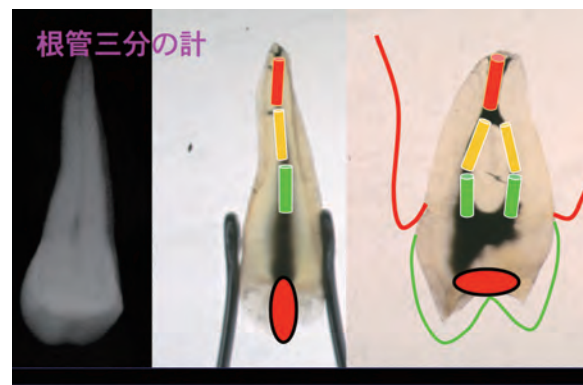
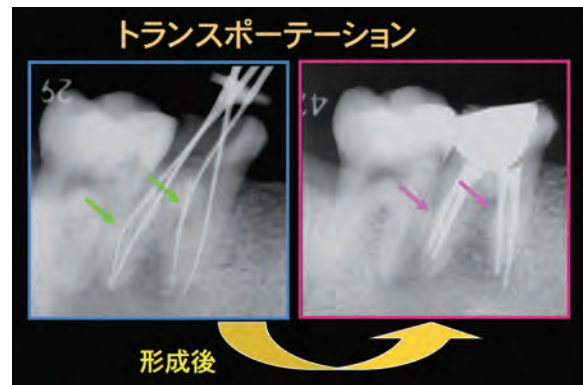
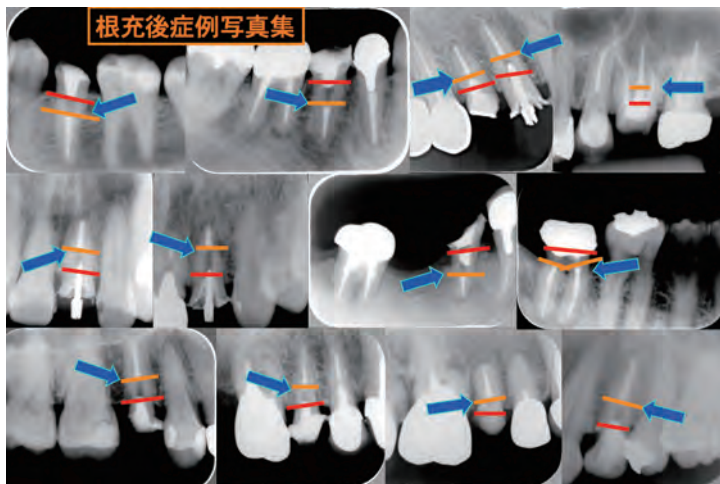
そこで今回、根管治療を基本から見直し、日頃の診療のレベルアップにつながる実践的な2日間コースを企画しました。根管解剖を理解した上での髓腔開拓、根管拡大・形成、洗浄、充填などの歯内療法の基本的な内容について、講義と実習を織り交ぜながら理解を

深めていただきたいと思います。なお、マイクロスコープは根管治療において非常に有効な機器ですが、今回の実習においてはマイクロスコープを使用しなくても対処できる内容を考えています。

根管という直接は見ることができない部位を対象とする歯内療法ですが、術者が治療対象のイメージを明確に持ち、行う処置の内容を的確に理解していれば、良好な結果が期待できるものです。したがって、歯内療法のコンセプトも重要です。今回は効率的な感染根管の攻略法などについても提示する予定です。

皆様の『今こそ見直そう！あなたの根管治療』への参加をお待ちしております。

(Yoshifumi Kinomoto)



スタッフセミナー

口腔インプラント治療は、大学教育にも導入され一般の歯科医院においても決して特別ではない治療として急速に普及しています。しかしながら、安易な手術施行や準備不足によって、様々な事故やトラブルが発生していることも事実です。口腔インプラント治療を開始するには、それに関与する様々な知識の修得と十分な準備が必要であり、歯科医師だけでなく歯科衛生士がチームの一員として担う役割も大変重要なのです。本セミナーでは、歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療に関連する知識、技能の習得を目指します。

歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療の知識

～インプラント治療を始めると言われて慌てないために～

日 時：5月31日(日) 10:00～15:00

場 所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

定 員：80名

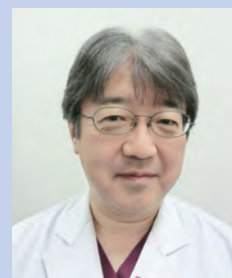
受講料：8千円



講師：中濱典子



講師：矢島安朝



講師：福田謙一

講演 | 口腔インプラント治療の基礎的な知識
外科処置の準備・介補
治療後のメンテナンス
インプラント治療に携わる心得

| 消毒・滅菌方法
生体モニターの準備
患者への説明と対応

※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

スタッフセミナー		
ふりがな	職種に○をしてください	臨床経験
ご氏名	衛生士 コ・デンタルスタッフ	年
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
TEL	FAX	
ご勤務先名		

中濱典子

千葉県立歯科衛生専門学院卒
(現：千葉県立保健医療大学歯科衛生学科)
東京歯科大学水道橋病院
口腔インプラント科主任歯科衛生士
水道橋病院副歯科衛生士長

矢島安朝

東京歯科大学卒
東京歯科大学
口腔インプラント学講座主任教授
東京歯科大学水道橋病院 病院長
日本口腔インプラント学会 指導医
日本顎顔面インプラント学会 指導医
日本口腔外科学会 指導医

福田謙一

東京歯科大学卒
東京歯科大学
歯科麻酔学講座准教授
日本歯科麻酔学会 専門医
日本障害者歯科学会 認定医
日本口腔顔面痛学会 暫定指導医

インプラント治療が予知性の高い、優れた治療法の一つであることは、既に社会的にも充分認識されており、これに携わる歯科医師・歯科衛生士も増加の一途にあると言われています。

インプラント治療の導入にはインプラント器材の購入や診療環境の整備等の経済的な負担だけでなく、インプラント治療に対する十分な知識や技術の修得、あるいはコミュニケーションスキルの向上といった様々な問題をクリアすることが必要となります。さらにインプラント治療は歯科医師、歯科衛生士がチームを組んで取り組む場面が多く、両者の連携の巧みさや治療に対する考え方、取り組む姿勢が同じ方向を向いている事がインプラント治療の成功を左右すると言っても過言ではありません。私たち歯科衛生士の知識不足や技能の未熟さ、あるいは低いコミュニケーション

能力によって、大きな被害を被るのは患者さんという事を念頭に置いて治療に臨むことが大切になると考えます。

今回の講演は、それらを踏まえたくえて、インプラント治療の導入に際してのインプラントの基礎的な知識、消毒・滅菌方法、外科処置の準備・介補、インプラント治療に携わる心得等をベーシックな面に重点を置いて解りやすく解説したいと思います。

水道橋病院口腔インプラント科の立ち上げから現在までの経験を基に、受講される皆様が肩の力を抜いてインプラント治療に取り組めるよう、お話したいと思います。
(Noriko Nakahama)



ペリオセミナー

歯周治療、インプラント治療後に機能的な回復ができて、審美的な配慮とケアを考慮した歯周環境の確立がなければ、患者さんの満足を得ることは出来ません。歯周炎罹患歯の抜歯後は、骨や歯肉形態が不正になりやすく、補綴やインプラント治療をより困難なものにしています。もしも治療計画において抜歯する段階から術後の補綴治療、インプラント埋入に際して歯周形態を考慮したアプローチがあれば、従来行っていたGBR等の治療を回避できるケースもあり、患者さんの負担軽減にも繋がります。

本セミナーでは、低侵襲の治療としてハード・ソフトの両面からティッシュ・マネージメントを学んでいただき、実習を通してソケット・プリザベーション、結合組織移植による歯肉増大術のテクニック習得を目指します。

ティッシュ・マネージメントのファーストステップ

講師：二階堂 雅彦

日時：7月5日(日) 9:30～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 13F

定員：25名

受講料：6万円

5万円（前年度同窓会費納入者）



講演 審美ゾーンにおける診断と治療
歯周形成外科とは
抜歯窩のバイオロジー
ハード、ソフト ティッシュ・マネージメント

実習 模型実習
ソケット・プリザベーション
ブタ顎実習
歯肉増大 結合組織移植術

※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ペリオセミナー	
ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	



二階堂 雅彦

東京歯科大学卒

タフツ大学歯学部歯周病学大学院修了 アメリカ歯周病専門医

アメリカ歯周病学ボード認定医 (Diplomate, American Board of Periodontology)

東京都中央区開業

東京歯科大学臨床教授

東京医科歯科大学歯学部歯周病学分野 非常勤講師

日本臨床歯周病学会 指導医 インプラント指導医

EPIC 研修会 主宰

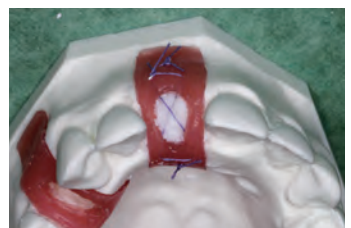
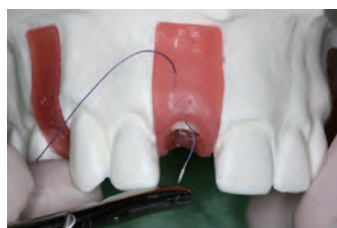
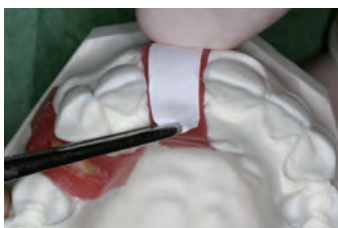
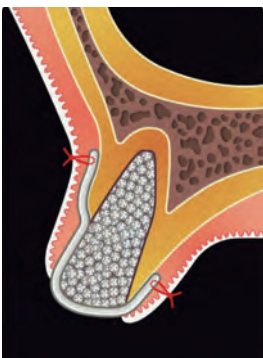
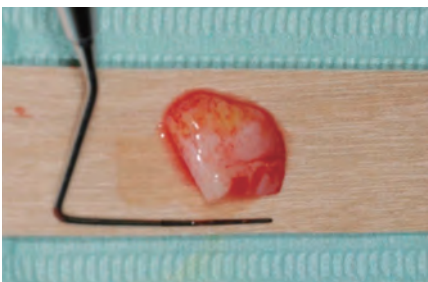
審美ゾーンの欠損歯列治療では、機能と審美を高い次元で両立させることがわれわれ歯科医には常に課せられています。反面、臨床医としては患者さんへかに侵襲の少ない治療をするかという課題もまた同時に求められています。このためにさまざまな硬組織、軟組織の治療法が、ティッシュ・マネージメントとして紹介されていますが、その最適な適応については多くの異なった意見があり、われわれ臨床家を混乱させます。

本セミナーは審美ゾーンでのティッシュ・マネージメントの考え方を系統的に学んでいきます。なかでもソケット・プリザベーションは比較的low侵襲な治療で

ありながら高い効果をあげることができ、抜歯が必要な歯があったら抜いてしまう前に考慮すべき重要な治療オプションです。また結合組織移植も審美ゾーンの歯肉増大の補正的手段として、ぜひとも手のうちに入れておきたい方法です。

本セミナーは、ティッシュ・マネージメントの系統的考え方、さらにその中からソケット・プリザベーションと結合組織移植を、ハンズオンを中心に、その適応症、術式、合併症などについて学んでいきます。

(Masahiko Nikaido)



補綴セミナー

コーヌスクローネ義歯を臨床に取り入れたいという思いはあるものの、複雑な治療ステップの上に体系的に学ぶ機会がなかったため、なかなか着手できない方は多いかも知れません。本セミナーでは、欠損歯列におけるその適応、実際の製作、装着、調整にいたるまでの手順について解説いたします。製作過程に生じやすい誤差や不適合への対応など、臨床に則した形でお伝えいたします。実習では、クラスプ義歯からテンポラリーコーヌス義歯への移行や支台歯形成、印象採得が修得できるよう学んでいただきます。また、装着後のトラブルとその対処方法についてもお教えいたします。

明日からの臨床に応用できるようになるよう、コーヌスクローネ義歯について理解が深まるコースです。

明日から取り組めるコーヌスクローネ

日 時：9月12日(土) 13:00～18:00

：9月13日(日) 9:00～16:00

場 所：東京歯科大学 水道橋校舎新館8F

定 員：30名

受講料：10万円

8万円(前年度同窓会費納入者)



講師：宮地 建夫



講師：藤 関 雅 嗣



講師：野 嶋 昌 彦



講師：鷹 岡 竜 一

講演 | コーヌスクローネの意義
欠損歯列とその適応症
コーヌス義歯の製作ステップ
症例提示と長期経過
トラブルシューティング

実習 | クラスプ義歯からテンポラリー義歯への移行
サベイヤーを利用した支台歯形成
個歯トレーの作製、印象採得

※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

補綴セミナー

ふりがな	出身校 (大学)
ご 氏 名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住 所	〒	
TEL	FAX	
ご勤務先名		

宮地 建夫

東京歯科大学卒
歯科診療室新宿 NS 顧問
東京歯科大学臨床教授
日本補綴歯科学会 理事
東京歯科大学同窓会 副会長

藤 関 雅 嗣

東京歯科大学卒
東京都千代田区開業
東京歯科大学非常勤講師
日本補綴歯科学会指導医 専門医
日本口腔インプラント学会専門医
日本顎咬合学会 認定医
スタディグループ救歯会

野 嶋 昌 彦

東京歯科大学卒
東京都千代田区開業
東京歯科大学非常勤講師
スタディグループ救歯会

鷹 岡 竜 一

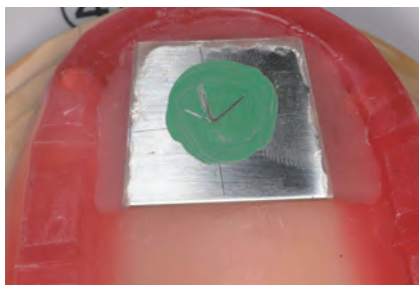
日本大学歯学部卒
東京都港区開業
スタディグループ火曜会

コーヌスクローネやコーヌス二重冠、コーヌスデンチャー等といったフレーズは聞いたことがある、あるいは書籍などで見たことがある、といった若い先生は多いはず。そして症例報告から長期的に安定した良好な経過が見て取れる反面、日常臨床では他院で装着された、コーヌス義歯内冠脱離、コーヌス支台歯破折、といったトラブルに遭遇してその対応に苦慮された方も多々と思います。本セミナーでは、多様な病態像を示す欠損歯列において、どんな症例がコーヌスの適応症となるのか、欠損歯列の読み方を通して解説致します。

また実際の製作方法とラボとの連携について、義歯

の作り方を欠損補綴としてステップバイステップで解説致します。さらに実際の症例報告として、歯周疾患症例における歯周補綴としてのコーヌスデンチャーの威力、さらに長期経過とインプラントのコラボレーション等についてお話し致します。一日半のセミナー時間の中で、レクチャー、実習、受講者によるディスカッションなどの手法を用いて、参加された先生方に情報を整理してコーヌスデンチャーを正しく理解して頂き、明日の臨床においてコーヌスデンチャーが応用出来るようになることを目指します。

(Masatsugu Fujiseki)



矯正セミナー

近年、矯正歯科では装置の簡便化がはかられ、治療の煩雑性が減少していますが、それでも全顎矯正を行うにはセファロ分析もあり、簡単に手をつけられないのが現状です。一般歯科の中で、矯正治療を行うということはひとつの大きなハードルではありますが、歯牙の移動量の少ない限局矯正治療で、ブラケットを使用しない矯正装置、アライナーであれば、臨床に導入しやすいかも知れません。アライナーは見た目も透明でわかりにくく、確実に歯を動かすことができる、患者満足度が高い矯正装置です。

講演では、アライナーによって動かす歯牙移動の基本知識について、また製作過程でアライナーに矯正力が宿る仕組みや、ラボへのオーダーの仕方等について学びます。そして実習では、専用コントラによる効率的ディスクングを体得していただき、明日からの臨床に応用できるようにお教えいたします。

アライナーによる矯正治療の基礎と応用

講師：渡辺和也

日時：11月8日(日) 9:30～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館 8F

定員：30名

受講料：5万円

4万円（前年度同窓会費納入者）



講演

- 適応症と非適応症
- 各歯牙移動に対応したアライナーの種類
- ラボでの作製手順
- 各種アライナーとの比較
- 患者管理

実習

- ディスクングに適した部位の判定
- 専用コントラを用いたディスクング
- 模型を用いたアライナーの着脱

*患者説明用に、実習で使用したアライナーと模型は持ち帰れます。

*クリアアライナー（和田精密）発注に必要なシリアルナンバー入りのサティフィケートが発行されます。

※セミナーのご案内は同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>)にも掲載されております。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

矯正セミナー

ふりがな	出身校 (大学)
ご氏名	(年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
	TEL	FAX
ご勤務先名		



渡辺 和也

東京歯科大学卒

東京都武蔵野市開業

日本矯正歯科学会 認定医・指導医・専門医

Edward H. Angle Society Regular Member (USA)

東京歯科大学歯科矯正学講座非常勤講師

日本歯科大学歯科矯正学講座非常勤講師

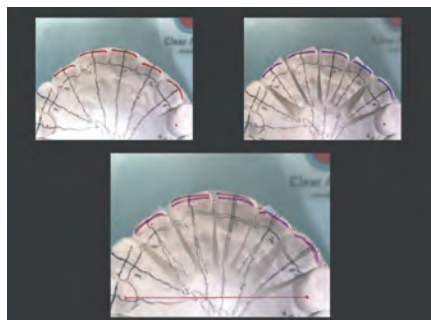
慶応義塾大学歯科口腔外科学講座非常勤講師

日本ではアライナーもしくはマウスピース矯正とも呼ばれる透明な可撤式矯正装置、いわゆる「クリア・プラスチック・アプライアンス」について、その現状を紹介する。1945年に Kesling によって発表されたエラスティック・ポジショナーのアイデアがその原点と考えられるが、1990年代に Sheridan らが ESSIX を発表、2000年代に入り Align Technology 社が Invisalign を製品化させ Boyd らがその症例報告を行っている。また、Kim らは Clear Aligner を発表し主にヨーロッパやアジアで使われるようになった。現在、国内外で上記以外にもさまざまな装置が独自に開発され発表されているが、多種多様でその正確な数を把握することは困難を極める。

これらの新しい治療システムは、従来のブラケットやワイヤーを使わないことを特長とし、患者にも抵抗感が少なく受け入れられやすい。日進月歩で開発される新しい材料や装置作成システムの改良などにより、アライナーによる矯正治療の適応症例の幅も広がってきたが、残念ながらすべての不正咬合をこの装置だけで治療できるわけではない。

今回のセミナーでは、各歯牙移動に応じたアライナーの種類、アライナーが生み出す矯正力、そして矯正装置としての仕組みや適応症・非適応症などについて解説し、実際の症例を示しながら、その限界と可能性について解説してみたい。

(Kazuya Watanabe)



卒後研修 …………… 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。

医療教養 …………… 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

臨床セミナー …… すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。

卒後研修

5月17日(日)	『ベーシックセミナー 欠損歯列の見方』 講師：宮地建夫、藤関雅嗣、加藤賢祐（東京都・開業、神奈川県・開業）
毎月 第2水曜日	TDC 研修倶楽部
毎月 第3水曜日	DSM（デンタル スタッフ ミーティング）
毎月 第4木曜日	歯科臨床を語る会

医療教養

1月29日(木)	『和食って素敵 ～世界に誇る和食のすばらしさ～』 講師：福留奈美（お茶の水女子大・研究機関）
2月26日(木)	『歯科医たる前に人たれ ～社会は我々歯科界に何を求めてきたか～』 講師：加藤武彦（神奈川県・開業）
4月2日(木)	『学校保健でのフッ化物の活用』
5月21日(木)	『地域での成人歯科保健の展開』
9月10日(木)	『これからの歯科医療を考えよう ～専門医としての生き方～』 講師：井澤常泰（東京都・開業）

臨床セミナー

4月25日(土) 26日(日)	『今こそ見直そう！あなたの根管治療 ～根管治療の最新知識と基本技術の習得 2日間コース～』 講師：木ノ本喜史（大阪府・開業）
5月31日(日)	『歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療の知識 ～インプラント治療を始めると言われて慌てないために～』 講師：中濱典子、矢島安朝、福田謙一（東歯大・口腔インプラント、麻酔）
7月5日(日)	『ティッシュ・マネージメントのファーストステップ』 講師：二階堂雅彦（東京都・開業）
9月12日(土) 13日(日)	『明日から取り組めるコーヌスクローネ』 講師：宮地建夫、藤関雅嗣、野嶋昌彦、鷹岡竜一（東京都・開業）
11月8日(日)	『アライナーによる矯正治療の基礎と応用』 講師：渡辺和也（東京都・開業）

会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎本館
- 東京歯科大学水道橋校舎南棟
- 東京歯科大学水道橋校舎新館

JR『水道橋駅』東口下車（御茶ノ水寄り出口）

都営三田線『水道橋駅』徒歩 5 分

* 駐車場は用意できません。車での来場はご遠慮ください。

* セミナー会場は直前のご案内にてご確認ください。



受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。

所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAX 送信にてお申し込みください。

FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)

必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
 - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、勤務先名
 - ③職種 歯科医師（出身大学・卒業年度）、臨床研修医（出身大学）
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- * もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

申し込み時の注意事項について

卒後研修セミナー・医療教養セミナー

- ・ 受付は先着順とし、受講票および受講案内の送付はございません。FAX にてお申し込みの上、セミナー当日、会場までお越し下さい。満席の場合はこちらからご連絡いたします。
- ・ 参加料・受講料（有料のセミナー）は、セミナー当日受付にてお支払いください。

臨床セミナー

- ・ 受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙（銀行・郵便局両用）をお送りいたします。
- ・ 振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・ 受講料は消費税込みとなっております。
- ・ 入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・ 入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・ 入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承下さい。
(ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です)
- ・ 但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・ プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- ・ 本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用 IC カードをお持ちください。

* 東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはありません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-9-18
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-5275-1761 FAX 03-3264-4859
URL <http://www.tdc-alumni.jp>

T D C アカデミア 卒後研修 医療教養セミナー 2015
受講申し込み書

① セミナー にしをお付け下さい。複数の記入可能です。

- リベラルアーツ・リレー講座 1月29日(木)
第1回「和食って素敵」
- フロントランナーセミナー 2月26日(木)
No.1 「歯科医たる前に人たれ」
- 口腔保健オープン・フォーラム 4月2日(木)
第1回「学校保健でのフッ化物の活用」
- 卒後研修ベーシックセミナー 5月17日(日)
「欠損歯列の見方」
- 口腔保健オープン・フォーラム 5月21日(木)
第2回「地域での成人歯科保健の展開」
- フロントランナーセミナー 9月10日(木)
No.2 「これからの歯科医療を考えよう」

ふりがな

② 氏 名 _____

③ ご連絡先 自宅 ・ 勤務先 (どちらかに○をしてください)
〒

TEL

FAX

③ 職種 (該当するものに○を付け、ご記載ください)

歯科医師 (卒業大学 _____ 卒年 _____)

臨床研修医

歯科衛生士 コ・デンタルスタッフ その他

上記必要事項を記入の上、東京歯科大学同窓会事務局へFAXにてお申し込みください。受付は先着順とし、受講票および受講案内の送付はございません。満席の場合はこちらからご連絡いたします。

受講料 (有料のセミナー) は、セミナー当日受付にてお支払いください。

(FAX 番号 03-3264-4859)